

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス どんぐりクラブ				公表日	令和8年 3月 25日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	1	適切なスペースを維持していく。	必要、不必要な物の管理を常に行う。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	2	適切である。	不適切な状態がないように常に注意している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11	0	ワンフロアである為、空間はわかりやすくなっている。	トイレの手すり等、古くなっている物もあるので修繕が必要。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	2	空間を広く使えるように物の配置を工夫している。	必要、不必要な物の管理を常に行う。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	1	パーティションを使って個別の空間を作れるようにしています。	常時、個別ルームが設置できるように室内レイアウトを考える。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	2	定例ミーティングにて立案と実行を行う。	新しく入った職員に対しての周知が薄い。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	4	評価表の提出後に社内検討を行い、内容に応じて対策や変更を行っている。	保護者さんとの交流機会が一部の職員でしか行われていない。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	1	定例ミーティングにて改善案を出している。	改善案の実行に時間がかかってしまう。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	11	外部による評価が行われていない。	今後、外部による評価を検討。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	4	一部の職員しか研修等の機会がない。	社内研修からスタートして、外部の研修にも参加していく。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	1	作成、公表を行っている。	全員で内容を理解し実行していく。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	2	送迎時など適時、保護者さんと計画について相談を行い作成している。	一部の職員のみで行っているので全員行えるよう工夫する。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	2	定例ミーティングにて検討している。	新しく入った職員に対しての周知、参画。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	1	定例ミーティングにて周知している。	新しく入った職員に対しての周知、参画。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	1	全利用者さん共通のアセスメントシートを使っています。日報での行動観察も記録している。	問題はありません。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	4	朝礼、定例ミーティングにて内容の確認や設定を行っている。	新しく入った職員に対しての周知、参画が行われていないので、今後行っていく。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11	0	全員で立案して行っています。	問題はありません。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11	0	日々、プログラムを変えて活動を行っています。	問題はありません。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10	1	生活能力向上を中心とした活動を全員で考えて行っています。	新しく入った職員に対しての周知、参画。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11	0	毎日の朝礼で確認と分担を行っています。	問題はありません。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	2	出来ない日もありますが、終礼を行っています。	終礼が出来ない日は、翌日の朝礼で報告は行っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	2	業務日報にて全員共有しています。	新しく入った職員に対しての周知、参画。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	2	必要に応じて、都度ミーティングを行っています。	新しく入った職員に対しての周知、参画。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8	3	活動プログラムを作成する際に全体・個に対しての支援内容を含め立案しています。	新しく入った職員に対して「4つの基本活動」仕組みを周知していない。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10	1	活動プログラムを作成する際や活動の際に自己決定出来るよう工夫を行っている。	問題はありません。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	4	担当者会議の回数は少ないですが、	一部の職員しか関係機関との交流がない。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	4	一部職員のみが行っています。	今後は全員で取り組んでいきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	11	0	学校、保護者さんとの情報共有を適切に行っています。	問題はありません。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	6	一部職員のみが行っています。	今後は全員で取り組んでいきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	6	一部職員のみが行っています。	今後は全員で取り組んでいきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	3	勉強会、研修など連携も含め一部職員が行っています。	今後は全員で取り組んでいきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	4	グループ会社の合同イベントは行っています。	地域交流も行えるよう検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8	3	一部職員のみが行っています。	参加した職員が共有できるような仕組み作り。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	2	連絡ノートや送迎時に保護者さんと会話を増やし情報共有しています。	全員で内容を共有出来るような仕組み作り。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	11	家族参加型の研修等を行っていない。	今後は検討していきます。
関	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	2	契約時に行い、質問等があれば適時対応しています。	問題はありません。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	2	作成をする際に保護者さん、関係各所と連絡を取り合っています。	問題はありません。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	2	一部職員のみが行っています。	今後は全員で取り組んでいきます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	2	家族支援の観点から適切に行っています。	全員が行っていないので全員が行えるようにしていきます。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	11	保護者会を行っていない。	今後は検討していきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	2	苦情窓口を設置しています。（県、市の苦情窓口も重要事項説明書に記載）	今のところ苦情はありません。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	10	1	SNSでの発信や行事予定を紙媒体で渡しています。	季刊誌の発行等検討しています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11	0	鍵付き書庫にて保管。	問題はありません。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11	0	学校、相談員、関係各所との連携を行っています。	問題はありません。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	11	地域参加型のイベントを開催していない。	今後は検討していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	2	マニュアル作成は出来ています。職員への周知も新しい職員以外は問題ありません。	家族の方への周知に関しては工夫が必要です。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	2	年2回のBCPミーティングにて周知徹底しています。	新しく入った職員に対しての周知、参画。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	11	0	個別の書面を作成して対応しています。	問題はありません。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	1	保護者さんからの資料を元に対応しています。	問題はありません。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	2	定例ミーティングにて周知と内容に見直しを行っています。	新しく入った職員に対しての周知、参画。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	2	書面での周知のみ行っている。	今後は書面以外での周知方法も検討。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	1	定例ミーティングの中で検討、改善しています。	問題はありません。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11	0	年2回の虐待防止ミーティングを行っています。	問題はありません。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10	1	マニュアル作成は出来ています。職員への周知も新しい職員以外は問題ありません。	計画への記載が無いので記載していきます。	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス どんぐりクラブ		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 2日		令和8年 3月 2日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 2日		令和8年 3月 2日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムの充実 曜日で固定した活動や偏った活動ではなく日々活動内容を変えて支援しています。児童だけではなく、保護者さんにもわかりやすい活動プログラムで支援することで、曜日固定ではなく活動内容で利用していただけるように提案しています。	職員全員参加で、やりたい事・利用者さんとやってみたい事をピックアップして活動プログラムを考えています。職員が楽しくなければ利用者さんも楽しくないと考え、みんなで作る活動プログラムにしています。	新しく入った職員が多いため、考え方の統一や楽しく支援することを周知して全員が活動プログラムの作成や活動自体に参加できるよう取り組んでいます。
2	ライフスキルの向上を目指した活動 生きていく力を養っていく為に活動プログラムにクッキングや公共施設の利用などを行い社会参加を行っています。余暇活動でも公園に遊びに行くなど社会のルール・マナーを支援していきます。	生きていく力を養うためにはどのような支援をしたら良いかをみんなで考え、自分たちが普段当たり前のようになっていることでも利用者さん目線で考えられるように、取り組んでいます。	利用者さん目線で活動を考えることの難しさはあるので、知識や経験も踏まえて活動プログラムを考えていけるように取り組んでいます。
3	利用者(保護者さん)への個別ニーズへの対応 家族支援の観点で利用者(保護者さん)の個別ニーズへの対応を強化しています。	個別ニーズへの対応を強化していく為に、利用者さん含め保護者さんからのニーズへの対応も強化できるように職員で連携していきます。	新しく入った職員が多いため、利用者さんだけではなく保護者さんへの対応も強化していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者向けの交流会や研修 保護者さんとの交流が送迎時中心になっているので、交流会や研修会などの開催を行い職員と保護者さんだけでなく、保護者さん同士の交流も行えればと思います。	送迎時の話で職員が満足してしまっていることが課題。さらなるニーズへの対応を考えてあと一歩保護者さんへ近づくことができるように交流会は必要だと感じている。	少人数での保護者交流会や相談会などからスタートして、雑談の中からでも悩みや困りごとを解決できるようにしていきたい。
2	地域交流(他事業所含む) 年1回グループ内での運動会は行っていますが、地域イベントなどへの参加が少ないので、積極的に参加していきたいと思っています。	施設内の活動で満足してしまっている。地域イベントの参加や他事業所との交流で新しい知識や繋がりを作ることも大切だと思っている。	まずは職員が地域イベントへの参加して、地域の方や他事業所の方と交流を行い、繋がりを作ることからスタートしていきたい。
3	新規職員の教育 新しく入った職員が多いため、社内研修や外部での研修会の参加などを行っていき、知識と経験の向上を目指していきたいと思っています。	新規職員への教育が統一化されていないため、都度教える・見えて覚えるが当たり前になってしまっている。まずは社内研修からスタートしていきたい。	社内研修やコミュニケーション向上の為にミーティング開催など風通しの良い環境づくりからスタートして、知識の共有や経験の向上に努めていきたい。